

石岡の民家 26 小松崎夏夫宅 (八木)

市の人口	
(12月1日現在)	
男女計	24,679人
	25,284人
	49,963人
	14,527世帯

火災シーズンに備える 防火の大役あなたが主役

火災シーズン到来!
今年の火災は、十二月一日現在で三十五件。昨年の二十二件に比べるとやや多目の数字になっています。損害額は約六千七百万円。これからはますます油断のできない時期になってきます。
私たちの身の回りには、常にタバコ・ガスコンロ・灯油と火災を引き起こす原因となるものが存在しています。
消防技能を競う市の消防ポンプ操法大会に優勝した井関・石川地区の第十分団。今月はその訓練の様を通して、消防団という地域消防体制の現状をお届けします。地域ぐるみの防火防災対策、この時期にぜひ考えてみてください。



市の消防分団を代表して新治地区ポンプ操法競技大会に出場した第十分団の面々。2カ月に及ぶ練習が実を結び、13チーム中堂々の第3位でした。



第十分団 の消防訓 練奮戦記

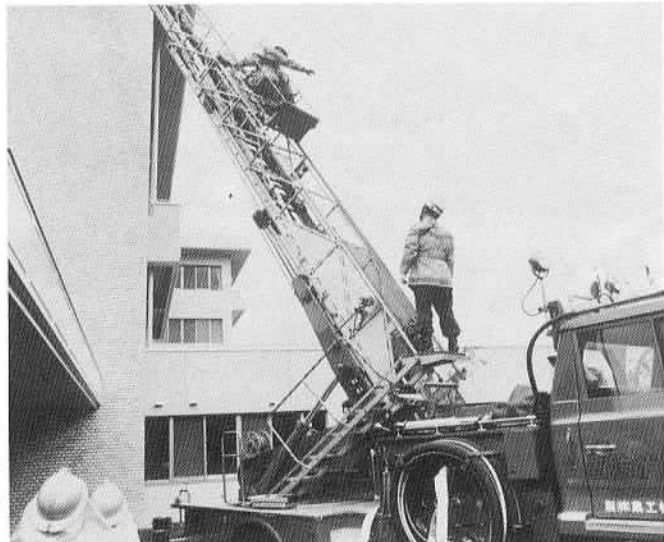
秋の火災予防運動が始まると市内消防団の消防技能を競う「消防ポンプ操法競技大会」が開かれます。
今年の優勝は、井関・石川地区の第十分団。優勝チームは、十一月二十日の新治郡大会に出場し、さらに優勝すれば県・関東・全国大会と高校野球のように勝ち上がっていきます。

「まあ、郡大会までいければ幸せですよ」と控え目に言うのは分団長の田口勝雄さん(44)。第十分団はこれまで、市の大会のために十六日間、郡大会のために十日間、一日約二時間の猛訓練を行ってきました。操法大会の選手は五名。迅速さと正確さを求められるため、二十代・三十代の若手で構成されています。

十一月十八日午後、二日後に迫った郡大会に向けての総仕上げが、消防署員三名の立会いのもとに行われました。会場は、



「これから消防車から降りて整列し、ホースの延長作業を行うんです。全員のかかとが一線上に並んでいないと減点です」と田口分団長が説明してくれました。動き一つ一つにセンチ単位の位置が決まっています。第二延長六十五秒・かたづけが百六十秒。非常に厳しく緊張を強



▲11月28日、大砂の石岡市医師会病院で市消防本部と病院職員30名による大がかりな消火訓練が行われました。

消防出初め式

1月10日(土) 9:30～ 石岡小学校校庭

- レーンジャー部隊の救助実演
- 幼年消防クラブの鼓笛演奏
- 婦人防火クラブの消火訓練
- 梯子車からのくす玉割り

※当日の午前6時・8時にサイレンが鳴ります。火災と間違えないようにご注意ください。

「緊張してあがっても、体が自然に動き続けるとダメなのです。これを体が覚えてしまえば、本物の火事するときでも冷静に素早く動けます」と語る消防署員の一人。目の前ではトビ口を持った三番員川島さんが汗だくの全力疾走。
十一月二十日、千代田村で行われた郡大会は、第十分団堂々の三位。指揮を務めた栗山さんは「いやあ、無我夢中で精一杯やりました。終わってほっとしました」と満足気にタバコをくゆらせていました。

外出の戸締まりは再確認を

●小松崎弘子(42) 高浜
私の住む高浜の富士見台は、道路が狭いのでどうしても火事を心配してしまいます。早く広い道路を完成させて、いざという時に消防車がスナナリ入れるようにして欲しいですね。
私は、寝る前と外出のときには、駅でやっている指差し確認をやっています。割と神経質なものですから、戸締まりとガスの元栓は三回確認をすることもあります。
友人に「そんなにやっつめるのと驚かれたこともあります。台所に消火器は置いてあります」

ガス警報器をつけましょう

●佐藤 寛(63) 国府5
燃料店という仕事からでしようか、私は北西の風が強いときは本当にはらはらしています。うちのお得意様の所から火が出はしないかと、枕を高くしてはられないので

でも、いざという時のために、消防署で消火器の使い方の講習会をやって欲しいですね。内容物の詰め替えも以前はやったことがあるんですが、これからは定期的に行っていた方がいいです。今の季節、空き地の枯れ草を気付けて刈っていた方がいいです。



来年春オープンする福祉会館 ぬくもりある 福祉行政を



市民記者 近沢サダ工



▲阿見町の福祉センター“まほろば”を訪れた市民記者の近沢さん。施設内の娯楽集会所では、高齢者の手編み教室が行われていました。

今、日本の国全体としても個々の生活環境の中でも、高齢者や心身障害者が少しずつ増えていきます。そのような中これからの福祉は、ますます重要になってくると思います。

県下でも急速に都市化が進み人口が増え続けている阿見町。ここは福祉や教育の問題に力を入れて、相当進歩的な行政を行っています。今回は阿見町大字廻戸に昭和六十年四月に開設した「まほろば福祉センター」を訪ねてみました。「まほろば」とは高く秀でた所という意味で、この地が永遠にまほろばであることを願って名付けたものだそうです。

阿見町の福祉センターを訪ねました

総面積七千七百九十八平方メートルに鉄筋コンクリート造りの平屋建て。霞ヶ浦を一望に見下ろし、施設の裏側には木立が生い茂り、水と緑のモットーのままの福祉センターにふさわしい環境だと思いました。

玄関を入るとロビーには、テレビ・売店・健康機器などがずらりと並べられ、中は老人福祉センターと心身障害者福祉センターに分けられていました。老人向けには、七十畳の大広間に舞台・カラオケ装置・音響装置があり、訪ねた時も幾組かの老年寄りが和やかに雑談している

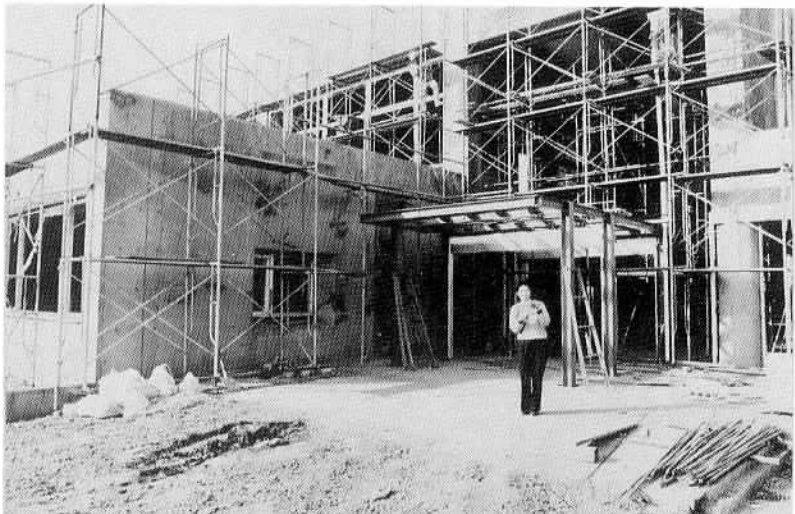


光景を見受けました。男女別々の大浴場は、太陽熱利用のソーラーシステムで午前十一時から午後四時までの好きな時間に入浴できます。

「湖を見ながらの入浴は最高で、ちよつとした温泉気分が味わえるんですよ」と七十歳位のお年寄りがニコニコしながら話してくれました。

そのほか健康相談室・図書室・社交ダンス場・娯楽集会所などがあります。娯楽集会所では六十・七十歳位の方々が手編みでチョッキを編んでおり、楽しみながらも真剣な眼差しが印象的でした。

心身障害者の方々には、生活相談室・トレーニング室・作業室などがあり、障害者の方が不



▲来年の春オープンを目指す福祉会館の工事は急ピッチ。老人・身体障害者の福祉を中心に福祉活動の拠点として、市民の方々が大いに活用できるような配慮にあふれています。

福祉会館に期待する中身の濃い運営

自由な手で時間をかけて、電気製品の部品を組み立てていました。その姿を見て、一日も早い社会復帰のできる日を願わずにはいられません。

この福祉センターを利用する町の老人と心身障害者に対しては、巡回バスと団体の送迎バスが利用できるようになってい

福祉センターが開設されてから一年半余りはまだ日も浅く、いくつかの問題点もあると思います。しかし、何よりも教養的・娯楽的要素などがたくさん盛り込まれ、そして運営に当たる方々の努力と暖かい熱意によって、ここを利用するお年寄りの楽しさと生き甲斐を感じ、これこそ福祉センター本来の姿ではなからうかと思

幸いにして我が石岡の市長さんは福祉行政に非常に力を入れその対策に当たっています。まもなく、当市にも福祉の拠点「福祉会館」が、国府五丁目（以前太田材木店のあった所）に建造中で、来年三月五日の完成を目指しています。建物は鉄筋で一部二階建て。一階が約千平方メートルで二階がその半分位。その中に老人福祉センターや身体障害者福祉センター、健

福祉会館の概要

鉄筋コンクリート造り一部二階建て、一階が約一千平方メートル、二階が約五百平方メートル。

一階には、生活健康相談室・機能回復訓練室・作業室・図書室等、その他教養娯楽室・集会所・研修室・ボランテニア室・湯沸室・身体障害者用トイレ等が設備されます。又、二階には会議などにも使用できる研修室が完備される予定です。

市内に居住している方は、交通の便は非常に良く徒歩・自転車などでも利用でき大いに活用が期待できます。

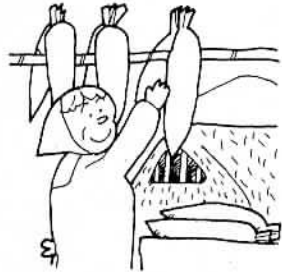
一市民として、運営に当たる方に望むことは、建物の立派さに負けない中身の濃い、そしてこまやかな心遣い。利用した方が一様に生き甲斐を感じられるような姿勢で運営に当たって欲しいと願っています。

福祉の原点は、温もりあふれる心であらう。相手の立場に立つてものごとをそれこそ、他人の悲しみにも涙を流し、通ずる美しき心が開花する。この施設は、このようないまをよりどころに、安らぎの郷土を、石岡市長 鈴木堅太郎

伊豆大島への義援金を募ります

昭和4年3月14日。市街地の四分の一を焼失した石岡は涙ぐましい全国各地から義援によって、力強く復興することができました。何千と寄せられた援助者の中には伊豆大島からの暖かい義援も含まれていたと伝えられています。57年前に石岡が受けた大恩を思い出して、市民の方々の心暖まる義援金をお待ちしています。

●窓口：市社会福祉協議会
☎3-1111 内線245



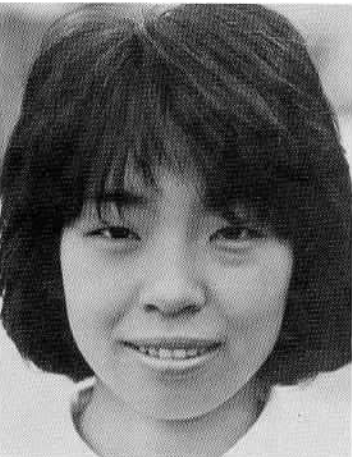
ヤング・インタビュー ひまわり談話室 34

●国司一代22 大國屋造花店十九歳で結婚した一代さんは現在二児の母。葬具と提燈製造の仕事で御主人の宏さんと一緒に、子守をしながら頑張っています。

「仕事については？」
「お葬式関係の葬具を扱っているんで、この仕事は笑顔でお客さんに接することができません。またお願いしませんが、言えないので、その辺はホドホドにやっています。お店は父で三代目。仕事が入るときはどつと入り、ないときはまったくなし。波があるけどこればかりは自然に行くしかありませんね」

「趣味については？」
「子育てと書いてください。上の亜希は二歳でいま明照保育園、下の暁平は九ヶ月。病気がか夜中に寝ないことがあって中大変ですね」

「やってみたいことは？」
「絵をかきたいです。高校のとき美術部について油絵をかいて



「駅ビルがあればなあ、と思います。それから配達をしていて道路の混雑に悩まされています。鹿の子に倉庫があって、市街地を通って六軒方面に行くときなどは最悪です。やはり六号バイパスの早い完成を望みます。それと私のことではないのですが、主人は祭壇の彫刻と木の地の「みろく」の再現をしたいと言っているんです。実現させたいですね」

年末年始のごみ・し尿収集日程

年末、年始はふだんより多量のごみが出されます。ごみの収集日程表を参考に期日内にごみを出してください。収集業務のない期間中は、ごみを各家庭で保管することになります。

大掃除は最終収集日に間に合うようお早目に。



▲年末の街を美しく！

豊かな郷土づくりに貢献した団体に贈られる“ばら賞”。今回その受賞団体となった土橋環境美化クラブ（浅田とき会長）の清掃作業が師走の早朝に行われました。

●ごみ・し尿収集日程

種別	収集日	最終日	開始日
燃えるごみ	月・木	12月29日	1月5日
	火・金	12月30日	1月6日
燃えないごみ	水	12月24日	1月7日
	木	12月25日	1月8日
し尿収集	土	12月27日	1月10日
		12月30日	1月6日



▲8畳の部屋にあふれんばかりのレコード2,000枚。ここ十数年にわたる若者文化のエッセンスといった感じです。

石岡ギネスブック (17)

ヒット・レコード二千枚 東石岡(一)の松島仁さん

小学四年のとき、ザ・タイガースの「君だけに愛を」を買ったのが松島仁さん27歳のレコード収集の始まりでした。音楽の成績が上がり、十万円もするステレオ東芝のポストンを買ってもらったのがそのきっかけ。

「二十年前のベストヒット二十は全部キープしています。中学時代にはビートルズのアルバムを全部、歌謡曲では山口百恵のレコードすべて、麻丘めぐみ・天地真理・森昌子などもほとんど集めましたね。」

海外のものでは、クイーン・キッス、プリティシシロックスなども持っています。柏原工業団地のナショナル製缶に勤務する松島さん。好きなのはフッシュンと音楽というだけあってまさにシテイボーイ感覚。本格的なレコード収集熱が高じたのは、入社した十八歳の時でした。

「月にレコード代四〜五万円は使ったでしょうね。平均して月二十枚は買っていました。十九歳から山下達郎・ユーミン・サザンオールスターズなどを集め始め、ニューミュージック系の音楽に熱中してきました。特に、最も好きな山下達郎に関しては、毎年宇都宮の文化会館

「この写真が東ノ辻の伊藤茂夫さん50が、昭和二十七年に金丸へ行ってライブコンサートを聴いています」松島さんの部屋のレコード以外には松田聖子・中森明菜など女性アイドル歌手のジャケットも多く見られます。「十代少女歌手のレコードは大体ありますよ。現在ヒット中の曲やかつて流行した曲のすべてが、ここにあるようです。忘れたかたのデイスコムミュージックのレコードも、ずらりと棚に三百枚ほど並んでいます。」

これぞ石岡一。コレクションや特技など身の回りの気付いたこと、自薦他薦を問いません。どしどし編集部にお寄せください。03-1111-1 内線273

「勤務が夜勤なので不規則で結構大変なんです。会社から帰ってきてお風呂に入った後、コーヒを飲みながら音楽を聴くと心が休まります。音楽は生涯の友だと思っています」と松島さんの目が輝きました。

町の自宅の二階から撮ったものです。友人から三千五百円で買ったドイツ製のゲルトというカメラ。F4.5の暗いレンズを測で合わせたにもかかわらず、シャープに金丸通りが写っていました。手前の大きな建物は割京・稲吉屋。さらに手回し式のガソリンタンクのある燃料店・釣り具屋・肉屋と続きます。

★家の中に眠っている古い写真や貴重写真。もし、ありましたら編集部にご一報ください。市役所広報広聴係 03-1111-1 内線273

一方、若宮一丁目の鈴木進さん74宅にあった写真には、現在歩道設置が進んでいる香丸町通りの六十年前の姿がありました。出初め式に参加した若松町第二部と呼ばれた消防分団の面々。中心にあるのは、石岡で一番古いガソリンポンプ車です。当時ガソリンポンプ車は、帽子に白い覆いを付けていました。背後に見えるのは珍しい木造三階建ての橋本旅館と最近まであった土蔵造りの灰吹屋です。

また増える一条の年輪は、自分の歩んだ今年の軌跡をはっきりと記してくれる。果たしてそれは、何を物語ってくれるのであろうか。

小さいにしても大地に残した足跡の上に、精一杯力を込めて歩んだ証が自分なりに納得いくものとなって見られるのであればよいのだが。私は今そんなことを考えながら謙虚に自分を見詰めるのであるが、胸の片隅に残る空を小さな空しさが吹き抜けてゆくような一抹の寂しさを感ずるのである。

もともと人間は、慢心すると前に進まないといわれるが、自分に求める厳しさがなくなったらどうなるだろうとよく思うことがある。今日はこのような事を含めて、私の寓居にかける標札を新しく掛け変えた。

また増える一条の年輪は、自分の歩んだ今年の軌跡をはっきりと記してくれる。果たしてそれは、何を物語ってくれるのであろうか。

帰宅して玄関を入ると頭上にあるこの標札。時として厳しい警察の役割を果たしてくれること、人に知られない私のささやかな喜びとなっている。

り返す意味で、娘とおしゃべりをしながら作業を終えた。自在とは真の自由であり、自他一体の境地の中に生まれると教えるこの言葉は、私にとって座右の銘となった。我は人なり人は我なり。言うは易く行は難いこの道を、私は今日も通って来たであろうか。

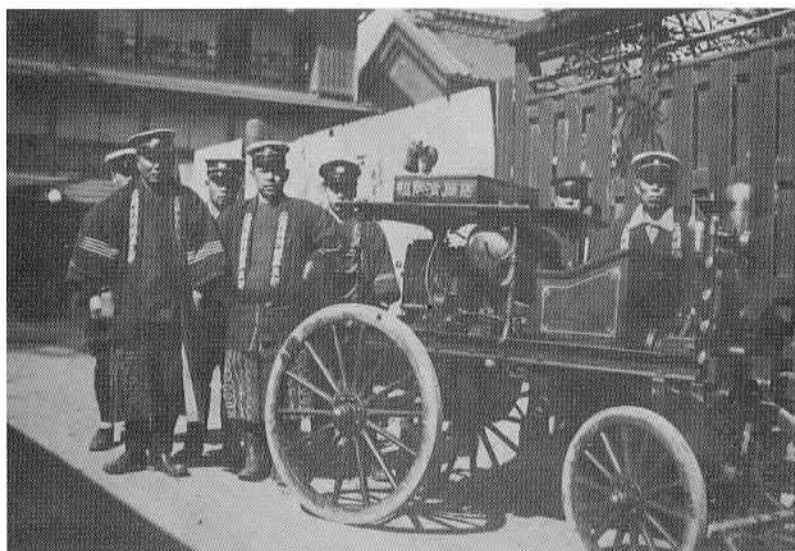
高きや位置の加減が一人では大変と思つたので、娘の手伝いを受けながらついでに勉強を繰り替えていたからであつた。

写真で綴る いしおか回想録 10

街の思い出・街への追憶



▲昭和27年当時の金丸町通り。街の様子から11月ごろの時期と推測できます。〔伊藤茂夫さん提供〕



▲昭和2年の出初め式に参加した若松町消防団の団員たち。石岡で一番古いガソリンポンプ車の珍しい姿も写っています。〔鈴木進さん提供〕

輝く“秋の叙勲”



●勲五等双光旭日章
福田 欣次(75)
〔更生保護功勞・教育功勞〕
保護司・元公立小学校長
住所：三村3105

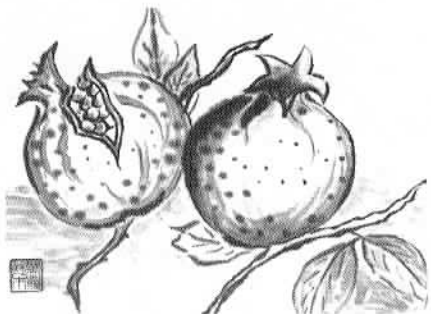


●勲七等瑞宝章
宮内 寿(65)
〔矯正業務功勞〕
元水戸少年刑務所看守部長
住所：東石岡2-11

市長日記

十二月一日(月)
大自然の大きい歯車は、音もなくゆく年を乗せて静かに回りゆく。

今年の元旦に感動を込めて一年の計を心に決めた日は、ついでこの間のような気がするのであるが、師走ともなれば今年もあと幾日もなく消えて行くこととしている。





文化・スポーツ

★図書館 ☎4-1507 ★府中地区公民館 ☎4-1530 ★東地区公民館 ☎6-6503 ★城南地区公民館 ☎6-3341

秋を彩った美術展

日本画部門
で市長賞に長谷川恵久さん



▲洋画の部で市長賞を獲得した大和田元さんの作品「17歳」

第二十七回市美術展が、十一月十四日から十六日の三日間、市民会館ロビーで開かれました。今回出展された作品は、日本画十六点・洋画二十八点・彫塑二点・美術工芸七点・書道二十一点・写真三十六点・デザイン四点の計百十九点です。四賞入賞者は次の通りです。但し①は市長賞・②は議長賞

- ① 長谷川恵久 「朝もや」
- ② 萩谷智恵子 「花菖蒲」
- ③ 綿引 栄 「茄子」
- ④ 関 陽子 「静物」
- ⑤ 大和田 元 「十七歳」
- ⑥ 土田 憲伺 「笛に舞う」

公民館 不用の布地でスカート作り

城南地区公民館

「自宅に眠っている布地を利用してスカートなどを作り、手作りの洋服を着用したりすることによって、洋服のよさを再認識しよう」と洋裁講座が城南地区公民館で開かれています。この講座には十名が参加し、十月七日からこれまでに六回講座が開かれました。講師には羽成佐代子さんを迎え、一回目はグループになっての寸法計り・スカートの製図、二回目からは縫い代の取り方と裁ち切る前の確認、しるし付け



▲羽成先生のアドバイスに耳を傾ける受講生。

出会いふれあい洋裁講座

緑川 芳枝

天気の良いある日、近所の奥さんに誘われて新装なった城南地区公民館の見学に行きました。というのも、奥さんが洋裁講座の受講手続きをすとの事で、私もいつしよにやってみようかしらという軽い気持ちで申し込み手続きをしました。

でも一歳の児を連れてどこまでついて行けるだろうか？と不安でした。洋裁講座の第一日目、明るくて前向きな講師の羽成先生や年齢の違う方々との出会い。時に六十代・七十代の人たちとのふれあいは刺激的でした。講座の時間中、ふと教室の時計を見ると終了時に近いではありませんか。午前九時三十分が始まって正午までの時間があっという間に過ぎてしまいます。時計の針が十二時近くになってくると、時間止まれ！の心境です。寸法計り・スカートの製図・裁ち方・しるし付け・仮縫い・本縫いと、回を重ねる毎に何とか自分の体型に合ったスカートが仕上がります。はい、時の喜びは



▲日本画の部で議長賞を獲得した萩谷智恵子さんの作品「花菖蒲」

写真の部で公民館長賞を獲得した長田清さんの作品「節句の日」

- ① 高橋 恵子 「風景」
- ② 中村 和子 「入形」
- ③ 小松崎 礎 「浄中物化観」
- ④ 大竹 春江 「唐詩」
- ⑤ 木川 温子 「唐詩」
- ⑥ 土田 宗司 「唐詩」
- ⑦ 写真 「親子猿」
- ⑧ 小神野 勲 「親子猿」
- ⑨ 金山 正禮 「光景」
- ⑩ 中川 照子 「できた」
- ⑪ 井坂 末松 「孤舟」
- ⑫ 美術工芸
- ⑬ 村田 正雄 「奇木によるツボ」
- ⑭ デザイン

※敬称は略させていただきます。

書道の部で観光協会賞を受賞した岡野朝子さんの作品「韋莊詩」
半山残月露華冷
雨
岸野風連筆書

図書館 ★きいろいばけつ★

親子読書会

十一月二十二日(土)、市立図書館で親子読書会が開かれました。参加したのは、石岡小学校の三年生と、南小学校・高浜小学校の二年生と父兄の約百三十人。当日は、市内の読書会の人たちの協力で、司会や記録を担当、三分科会に分かれて熱心な話し合いが行われました。

分科会の後、石岡小学校三輪俊校長先生の指導で、きつねの気持ちになつて、きつねの子が丸木橋のたもとで黄色いばけつを見つけた。この黄色いばけつを通して、きつねの子が寄せる思いを優しく、しかも、暖かく描いている内容。



▲「きいろいばけつ」の話しに聞き入る子供たち。

月曜日には、ぼくのもの・きいろいばけつはぼくのもの月と、みんな思い思いの節を付けて楽しく合唱をしました。アトラクションでは、高浜在住の海老沢光義さんの腹話術が披露され、会場内は楽しい雰囲気。一冊の本を通じて、百三十人の親と子のすばらしい交流が展開された一日でした。

利用してます！東地区公民館図書室を

海老沢 明子

「ダルトニヤン物語」全十一巻を東地区公民館図書室の書架にて見つけ、早速借りてきました。

と感謝しています。公民館の中の一室が図書室ですから、本の数は本館の様にいきません。

かつて、夢中になって「三銃士」を読んだものです。続編、続々編も読みたかったのですが、その頃はまだ発刊されておらず、それから何十年か過ぎた今、その望みが叶えられました。

でも、それなりに各分野にわたっており、こじんまりと落ち着いた雰囲気の中でじっくりと本を選べるのは嬉しい事です。何よりも東地区の住人である私たちにとって、身近な事が一番です。

小学生の子供たちのリクエストによって購入したとの事、よくぞリクエストしてくださった

買い物のついでに、講座の帰りに、友人と誘い合わせて気軽に立ち寄っています。



▲“みつめよう・あなたの暮らし”をキャッチフレーズに市消費生活展が開催(市民会館)
11月15・16日の両日第16回市消費生活展が開かれ多勢の人でにぎわいました。市地域婦人団体連絡協議会(幕内君江会長)では六地区の会員らが衣類・雑貨・食品品のバザーを開いたほか、再生品コーナーなども設けられ市価の半値以下とあって希望者が殺到。益金は恵まれない人に役立ててと各代表者から市に寄付されました。



▲電話帳早引きコンクール
電話番号を正確に速く探す電話帳早引きコンクールがNTT石岡電報電話局で11月12日行われました。市内近隣町村の主婦・学生・公務員・OLなど50名が参加。審査の結果、山野とも子(高専)、菊地実・日浅孝幸・信田弘行(消防署)、川上幸子(自営業)の五名が優勝。

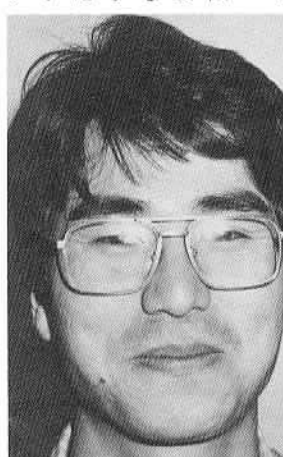
▼空に浮かぶ不思議な人影は何?

高さおよそ50メートル、目もくらむような高所での作業をするのは東京電力土浦工務所のスタッフです。難着雪リングという除雪器を取り付けて、これからの冬に雪の重みで送電線が切れないように備えているのです。



▶ボランティアの人たちの演芸に大喜び
市高齢者福祉事業団主催による、ひとり暮らし老人の集いが11月13日東地区公民館で開かれました。講演では市長が「老人の生きがい」と題して「一年に一回会うのみでなくこれを機会にここに集まった百四十名のお年寄りがお互いに電話を掛けあったりして良き友たちになって欲しい」とあいさつ。昼食後ボランティアの人たちのすばらしい演芸で楽しい一日を過ごしました。

●関川小学校 坂場克身先生(31)
坂場先生が担任する六年のクラスは全部で二十五名。全員が明るく個性的で、兄弟のように仲良しといった雰囲気です。「さわやかで良い先生です。悪い所はありません」と古渡正好君が早速誉めちぎりました。
「先生は子供のころ絵がうまくて、お金がない時は絵でお小遣いをもらったんだ、と自慢するの。ほんとかなあ」笑顔の小松崎明子ちゃん。
小松崎理君は「愉快でおつちよこちよ。明日持つてくる物を言い忘れてボクちんちんに夜電話くれたこともあったんだ。天文学が大好きな先生」大野美貴ちゃんいわく「冗談を言うので授



やんが「まじめな時はまじめ。バスケットの市内小学生大会で男女ともに優勝した時の練習は厳しかったです。理科展で受賞した時も、深夜まで研究の整理が続き、目を開けて眠っちゃった男の子もいるんです。」

ほくらの名物先生 (24)

業が楽しい。でも怒るとおーっかなくて「巨人の星」のとうちやん・星一徹にそっくり
「理科に力が入っています。星の観測に熱中してランチュウの飼育を忘れたこともある」と小沼善則君。最後に高塚弥生



▶カニのはさみで火災をカット(愛郷橋出張所)
竹で作ったユニークなカニくんが消防署愛郷橋出張所にお目見えしました。大きさは約2メートルで、赤い目玉がクルクルと動きます。



▲ライオンやペンギン・ロボットが会場いっぱい展示
11月19日国分台ふたば保育園で保育所公開保育事業研修会が開かれ近隣町村から70名の保母さんが参加。当日は公開講座が行われ園児たちが空き缶、空き瓶など廃物を利用してロボットや動物など造形展が同時に開催され、立派な作品揃いに集まった多勢の保母さんたちは感心することしきり。



▼俳句の部
府中二龍 はつ木の葉髪めつきりふえし誤字脱字
大谷津 大関 ひさ枯葉散る裏返りまた裏返り
国府四 生井 静
静けさや木枯しを待つ捨小舟
総社一 吉久保王子
豆腐屋の冬を呼ぶ笛夕あかり
大谷津 海老沢明子
硯洗う水のぬくもり今朝の冬

▼文芸いしおか
府中三 赤津美智子
ひやひやと太刀白妙に飾られる
若松一 金子 起久
おとずれる野鳥にのこす柿一つ
▼俳諧の部 題「小春」「車」
長島五十路
夫婦筑波に錦を着せて
里は小春の畑を打つ
篠原 東陽
つらい時こそ辛棒せよと
母が励ます車椅子
岩崎 山水

浦に木の葉を散らしたように
小春賑う釣天狗
鈴木 虚心
過去のあやまち思い出めぐる
水子地蔵の風車
高橋 武子
知らぬ同志が酒酌み合つて
旅情分け合う汽車の旅
小林けさ美
ガラス越し入る明るい部屋で
小春日和の針仕事
▼短歌の部若宮一 飯田 静江
寡婦とあらし友は故郷へ帰り住むと
祭囃子を背にし旅発つ
大谷津 海老沢明子
庭隅に抜き棄てられし松葉牡丹
朝ごとにほ花開きるる
東光台一 岩崎 登代
秋つきて人影もなき山荘に
目を見ひらきて闇の音きく
井関 田口 房子
今宵見し「ピルマ」の豎琴に遠き日の
戦禍を想へり夢のごとくに
東光台 櫻村喜美子
我が庭に赤き実のなる木植えし
より凶鑑開きつつ鳥の名覚ゆ

くらしのガイド

11月の市内交通事故

発生件数	31(268)
死者	0(5)
傷者	36(342)
()内は1月からの累計	

★市役所 ☎3-1111 ★市民会館 ☎2-5187 ★テレホンサービス ☎3-3333

休日・夜間緊急診療

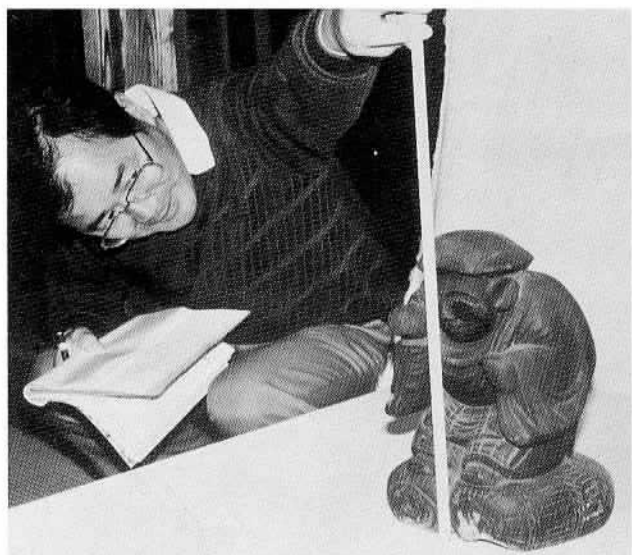
月	日	産婦人科	外科	内科・小児科
12月	29日(月)	松葉病院 (3)-2157	齊藤病院 (6)-2131	内科・小児科 歯科(11:30まで) メディカルセンター 杉並2-1 ☎4-1386
	30日(火)	富田産婦人科医院 (3)-0311	青木医院 (3)-0221	但し 梅田歯科医院 浅倉歯科医院 吉田医院(内科) 平井歯科医院
	31日(水)	飯田医院 (2)-2268	医師会病院 (2)-4321	夜間 (内科・小児科) 12月29日・30日・31日 1月1日・2日・3日 4日・10日・11日 14日・15日・17日 18日・24日・25日 31日
1月	1日(木)	松葉病院 (3)-2157	同愛病院 (2)-2261	
	2日(金)	富田産婦人科医院 (3)-0311	府中病院 (2)-2146	
	3日(土)	飯田医院 (2)-2268	田中病院 (3)-2288	
	4日(日)	松葉病院 (3)-2157	根崎病院 (3)-6611	
	11日(日)	富田産婦人科医院 (3)-0311	石岡第一病院 (2)-5151	
	15日(木)	飯田医院 (2)-2268	滝田整形外科病院 (3)-2071	
	18日(日)	松葉病院 (3)-2157	山王台病院 (6)-3130	
25日(日)	飯田医院 (2)-2268	齊藤病院 (6)-2131		

ふるさと散歩道 ④8

国府五丁目にある春林山平福寺。市指定史跡である常陸大掾氏墓所のあるこの寺には、もう一つ貴重な市指定文化財が安置されています。

円空作と伝えられる大黒天。桐材に走る粗いノミ跡が、高さ三十一センチの像全体に力強さを与えています。七福神の一つである大黒天は福徳や財宝を与える神として、古来から民衆の間で祭られてきました。

「穏やかな顔でほほえんでいますね」市内の仏像を取材して回っているライオンズクラブのメンバーの一人が、うれしそう



▲円空の作と伝えられる平福寺の大黒天を計測する石岡ライオンズの「寺とみほとけ」取材班。

来声を上げました。曹洞宗の禪利である平福寺の本堂の中。大黒天が放つ幸福の微笑は、周囲にほのぼのとした大気を醸し出しているようです。

来年六月には、この取材の成果をまとめた設立二十周年記念の写真集「石岡の寺とみほとけ」が出版の予定です。

開運のシンボルともされてきました。正月二日、初夢を見る晩に七福神の絵を枕の下に入れると縁起の良い初夢を見ることができ、その一年はすばらしい年になるといわれています。

「円空の作とすれば、この像は約二百年前に作られたものですね」とライオンズの一人。なるほど、桐の大黒天は黒光りを放ち虫食いやキズが、長い時の流れの中を漂流してきたことを証明しています。

江戸初期の僧・仏師である円空は、美濃の出身。諸国行脚の旅に出て、美濃・飛騨・東北・北海道などで十二万体の神仏像を刻みました。粗削りで微笑を含んだ素朴な仏像たち。円空の「みほとけ」には、民衆の心の隅々まで届く何ものかが宿っています。

平福寺の大黒天の微笑。そこには、人々の明日への幸福を願う仏師の温かい心が息づいているようです。

納期を忘れないでネ

12月	固定資産税(3期)	1月	市県民税(4期)
	都市計画税(3期)		国民健康保険税(6期)
			国民年金(4期)

「ワアーン」大粒の涙がかわいいほつぺを伝わり落ちます。お母さんが洗濯や家事仕事でちよつとでも一成人から姿が見えなくなるようなものなら大変です。お母さんの佐々木佐恵子さん(70)は「毎日

必ずといっていい程泣くんですヨノでも、お母さんといっしょのテレビ番組が始まるとにこにこして見ているんです。健康で思いやりのある心優しい子になって欲しいですネ」

お昼寝が終ると、お母さんと連れ立っておじいちゃん・おばあちゃんの家へ行くのが日課です。しかも、おじいちゃんに抱っこしてもらい国分寺のハトを見るのが大好きという一成人。

赤ちゃん 鹿の子

水戸ヤクルト株式会社石岡支店 五〇〇〇〇円

小松崎 チカ 若松三
星野 知一郎 三村
片岡 もと 三村
本田 陸之助 三村
川島 虎蔵 井関
小林 はる 泉町
岸田 清次 水久保
鈴木 留雄 東の辻
桜井 フサ 姥橋
猪瀬 貞芳 柏原町
石崎 徳 東大橋
酒井 愛子 東光台一
伊藤 光子 東光台二
野口 さだ 東石岡四

善意銀行への暖かい心、本当にありがとうございます。

★金銭の部
柴崎 光男 三、〇〇〇円
平 美代子 二、一五〇円
府中地区公民館 八、八〇〇円
右洋裁同好会 六、一五〇円
同隣手芸同好会 七、七五〇円
新成たかし後援会 二、五九六円
石岡くらしの会 一、〇〇〇円
右リフォームコーナー 五、〇〇〇円
同納めコーナー 九、四五一円
匿名 五、四六円
消費者生活展 七三、五五〇円
環境保全課 一三、七九八円
石岡精工舎・松井孝二郎先生・オールスターズ

たばこ消費税は暮らしの中に生かされています

たばこは市内で買いました

健康相談

●妊婦教室 メディカルセンター
1月12日(月)・19日(月) 午後1時30分～4時
●リハビリテーション メディカルセンター
1月9日(金)・16日(金)・23日(金)
午後1時30分～3時30分
●健康相談 メディカルセンター
1月12日(月)・19日(月)・26日(月)
午前10時～午後3時
●出張健康相談
1月6日(火) 城南地区公民館
1月6日(火) 石岡商工会議所
1月8日(木) 老人憩いの家
1月22日(木) 府中地区公民館
※各会場とも午前10時～午後3時
●健康教室 石岡農協
1月20日(火) 午後1時30分～3時30分

赤ちゃん健診

●3カ月児健診 メディカルセンター・病気の時は翌月に
1月7日 午後1時～2時 対象 昭和61年9月出生児
10カ月児健診 メディカルセンター
1月14日 午後1時～2時 対象 昭和61年23月出生児
●1歳6カ月児健診 子供さんの歯フラスシを忘れずに
1月21日 午後1時～2時 対象 昭和60年7月出生児
●3歳児健診 子供さんの歯フラスシを忘れずに
1月28日 午後1時～2時 対象 昭和58年12月出生児
●モシモシ赤ちゃん相談 ☎4-1386
1月12日・19日・26日 午前9時～午後4時

各種相談

●国民年金・厚生年金相談
1月6日(火) 午前10時～午後2時30分 商工会議所
●義肢車いす器具等巡回修理 土浦市社会福祉センター
1月21日(木) 午前9時30分～12時
●高齢者無料職業紹介所 毎週月曜・土曜
市役所 社会福祉協議会
●出張相談 1月7日 府中地区公民館
1月14日 老人憩いの家 午前9時～午後3時
1月21日 東地区公民館 午後3時
1月28日 城南地区公民館
●精神衛生相談 石岡保健所 ☎4-1335
1月6日・20日 専門の精神科医師 午後2時～3時
●市民健康相談 市役所市民健康相談室
毎週月・水・金 毎月第一木曜日

困り事

●市民相談 毎週月曜・土曜 市役所市民相談室
●困りごと相談
1月16日(金) 午前10時～午後3時 市民会館
●行政・登記相談
1月8日(木) 午前10時～午後3時 市役所会議室
●法律相談 市民相談室(内線263)
1月13日(火) 長谷川恒弘弁護士
1月27日(火) 野武興一弁護士
午後1時～4時 電話で予約を行ってください。
●交通事故相談 1月16日 午前10時～午後3時 市民会館